

芝山町の  
ICT教育

# 子どもたちの学びが進化します

☎ 教育課 学校教育係 ☎ 77-1861

最近よく耳にする「ICT」という言葉。これからの学校教育にはこのICTの活用が必要とされており「知っているか（知識の詰め込み）」の時代から「何ができるようになるか（情報活用）」の時代へと移り変わっていきます。

## ◆ICTとは

Information and Communication Technologyの略であり、情報や技術を共有するためのコミュニケーションが強調された語のことをいいます。

## ◆ICT教育とは

学校におけるICT教育とは、パソコンや電子黒板、プロジェクターなどの情報通信技術を活用した教育のことです。ICT機器を活用することで、五感を働かせた分かりやすい授業が展開でき、子どもたちの学習意欲も高めることができるといわれています。

## ◆芝山町の取り組み

芝山町でもICT教育が子どもたちにとって必須であると考え、昨年度に「校内無線LANの整備」と「小・中学校に各40台のタブレット端末の導入」を実現しました。

これらは新学習指導要領の改訂に伴うプログラミング教育にも対応し、ICT支援員と連携を図りながら、先行した形で取り組んでいます。

## ◆間もなく到来する「Society5.0時代」に向けて

これからの時代は、私たちの想像を超えた世界が広がっているかもしれません。今後、情報を主体的に捉えて新たな価値の創造に挑んでいく意識が必要となります。

時代を切り拓く子どもの育成を目指し、芝山町はこれからもその先の一步を模索していきます。近い将来、学校現場においてもタブレットが鉛筆やノートなどの文房具と同様に、子どもたちの側にあって当たり前なものになっている、そんな芝山町を目指していきます。

### ◆用語解説

#### 【プログラミング教育】

プログラマーの育成ではなく「プログラミング的思考（論理的に考えていく力）」を養うこと

#### 【アクティブラーニング】

課題の発見・解決に向け、子どもたちが主体的に参加し、他者とも協働しながら学習する授業スタイルのこと

#### 【デジタル教科書】

紙の教科書がデジタル化されたものであり、教科書の中に画像や音声、動画などのコンテンツが入っている

#### 【GIGAスクール構想】

Global and Innovation Gateway for Allの略のことであり、「児童・生徒向けの1人1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想のこと

#### 【Societys.0】

狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に次ぐ、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな未来社会のこと

#### 【IoT】

Internet of Thingsの略であり、インターネットとモノのつながり、情報交換することにより相互に制御する仕組みのこと



◆昨年度実施された「ICT教育の実践」の様子

**小学校** 5年算数科「円と正多角形」  
※プログラミング教育

○授業者 (林 伸一 教諭)

プログラミングを使ったことで、正多角形の一つの角度を求めるために子どもたちは積極的にアイデアを出し、ブロックをどのような組み合わせにすればよいのかを考えることができました。

また、組み合わせをどのように変えていけば自分が思った通りの動きに近づくのか、といった課題解決の力を友人と高め合うことができました。

○5年2組 吉川 穂佳さん

正多角形の求め方の決まりを覚えることが必要でした。今回の学習は自分で考え発表し、間違えた部分を先生に教えてもらうという流れだったので、理解しやすかったです。



2月13日(水)実施▶

**中学校** 2年国語科  
「魅力的な提案をしよう」

○授業者 (古川 日菜 教諭)

ICT支援員の三竹先生に参加していただきながら、タブレットやその中で共有されるデジタル教材を活用することで、授業の中で生徒の考えを瞬時に取り入れることができました。

生徒同士の意見交換も活発に行われ、全体の学習意欲が高まった気がします。今後もICT機器を使って楽しく学び合える授業を目指していきたいです。

○2年A組 熊谷 幸希さん

タブレットを使うことで、自分の考えや友人の意見をすぐに伝え合うことができました。今後もこのようなタブレットの授業の機会が増えるとよいなと思いました。



▲2月19日(水)実施

**ICT支援員の声**

○三竹 佳奈さん (芝山町に1年間勤務)

小・中学校の授業におけるICT活用の支援として、学習の理解を深めるためにICT機器やソフトウェアの効果的な活用をサポートさせていただきました。

小学校では、必修化に向けてのプログラミング学習が中心でしたが、先生方が積極的に取り組み、子どもたちも学習の目的をしっかりと理解して意欲的に活動してくれました。この活動が次の学年、中学、高校へと繋がることを願っています。

○ICT支援員とは？

学校における教育の情報化推進の実務的な支援をする人物のことで、先生のICT機器操作の補助や、ICTを活用した授業の打ち合わせなどを行います。



▲三竹 佳奈さん

**中学校** 1年理科「大地の変化」

○授業者 (松本 遥菜 教諭)

タブレットを授業で活用することにより、生徒たちは意欲的に自分の考えを表現できていたと感じ、資料提示もスムーズに行うことができました。

しかし、タブレットを使用するための準備や操作方法の説明などでは時間がかかってしまったので、今後は、使用方法や場面を吟味し、より効果的なタブレットの活用を目指します。

○1年B組 伊藤 妃菜さん

タブレットを使うことで楽しく図を描くことができ、他の人の考えが分かりやすかったです。今度は、科学的な現象について自分で調べてまとめる活動してみたいです。



▲2月19日(水)実施

**入札 入札結果**

☎ 総務課 契約管財係 ☎ 77-3907

開札年月日	入札手法	工事(業務委託・物品)の名称	工事(業務委託・物品納入)の箇所	落札価格(円) (消費税除く)	請負額(円)	契約の相手方
2月12日	制限付一般競争入札	人事給与システム賃貸借	芝山町役場	6,750,000	7,425,000	(株)J E C C
2月27日	指名競争入札	川津場地区道路等検討業務委託	芝山町岩山地内	1,480,000	1,628,000	(株)エポック 芝山営業所